



# の が き 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2024年1月24日 No.174 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

自民党政治を終わらせ 希望ある新しい日本を

## 第29回党大会に参加 幹部会委員長は田村智子さん

志位委員長が開会を宣言し、中央委員会を代表したあいさつの中で能登半島地震の犠牲者への追悼の意と被災者へのお見舞いを表しました。また、昨年末のASEAN3カ国への訪問や、日本の政治の行き詰まりを打開するために国民的大運動と共産党の躍進をと訴えました。田村智子副委員長が大会決議案の中央委員会報告を行い、4日間で60名が発言しました。その中で、私が特に印象に残



▲党大会の会場で上保地区委員長と

1月15〜18日で開催された日本共産党の第29回党大会に私は代議員として参加しました。党大会の様子をお伝えします。全国からの勇気ある行動と発言に感動した4日間

った発言を紹介します。

### 被災地・石川県からの発言

石川県からは輪島の党事務所の1階が潰れ、議員や党員も避難生活の中、避難所で要望を聞き取られませんでした。全国から寄せられた救援募金に感謝していること、油漏れは重大で危険な原発はもう廃炉しないと発言しました。

### ジェンダー平等を目指して

長崎県の若いトランスジェンダーの代議員は、投票所でアウトイング(本人の同意なく性的思考や性自認を第三者が公に暴露すること)を受けたことを民青の班会で仲間が聞いてくれ、選管に申し入れをしてマニュアルを改善させた経験を発言しました。

大阪からはゲイを公表して市議選をたたかった経験と、一致点を思い出しながら対話をすすめるよとの発言がありました。



LGBT当事者の党員が傷付きながらも勇気を持って差別を克服する姿に心を打たれました。生徒に自衛隊を薦めないで

青森県の元教員は、親に経済的負担をかけないようにと自衛隊に入った教え子から、今の生徒に「自衛隊を薦めないで」と言われたと発言。教え子を戦場に行かせないと頑張ってきたが、現実になってきたと立候補を決意し党県議になったそうです。

平和の問題では沖縄や鹿児島県の馬毛島など新基地建設の発言もあり、アメリカいいなりの自民党政治が若者や地方に重大な矛盾をもたらしています。

### 人間の自由・未来社会論

コロナ禍や経済不安から資本主義に危機感を感じる若い世代が多く、社会主義への関心が寄せられているという発言もありました。共産党の未来社会論がこの矛盾を乗り越える展望を示しているのだと思います。

最終日には中央委員を選出する選挙があり、第一回中央委員会総会が開かれ、委員長に田村智子さんが選出されました。

# 党区議団が区に被災地支援と震災対策の強化を申し入れ



▲申し入れ文を手渡す党区議団

日本共産党杉並区議団は18日、岸本区長宛の「能登半島地震にたいする現地支援及び杉並区の震災対策についての申し入れ」を杉並区危機管理対策室長に手渡しました。

**募金の際に寄せられた声から**

この間、共産党は能登半島地震救援募金に取り組んでいます。その際に多くの方から「杉並区でも震災対策を強化して欲しい」という声が多数寄せられており、党区議団が申し入れたものです。被災地への支援の強化とともに、今回の震災の経験から杉並区としての震災対策の総点検と対策の強化を提案しました。

申し入れの全文は党区議団のホームページでご覧になれます。



スマートフォンやカメラで左の二次元コードを撮影するとアクセスできます。

申し入れ後に区も支援へ

杉並区は能登半島地震を受け、交流自治体であり石川県七尾市を支援している福島県南相馬市から、七尾市の物資が不足しているとの情報を得たため、必要な物資の確認をした上で支援物資を搬送しました。

搬送には、区と災害時の協定を締結している東京都トラック協会杉並支部の協力を得て2トントラック2台に、危機管理室防災課の職員が支援物資を積み込み、22日に杉並区を出発しました。

このほか、都内自治体による能登半島地震に伴う被災地の支援については、東京都が石川県を通じて調整をされており、今後は保健師などの区職員の派遣も予定しているそうです。



▲トラックに支援物資を積み込む杉並区の職員 (杉並区HPより)

## 能登半島地震救援募金

にご協力をお願いします。

募金は中央委員会を通じて全額を被災地と被災した自治体への支援に充てます。

**郵便振替 口座番号**  
00170-9-140321

**加入者名**  
日本共産党災害募金係

通信欄に[能登募金]と記載のこと。

野垣あきこ地域学習会

## イスラエルとパレスチナ

2月4日(日)13時半～  
ウェルファーム杉並3階

参加費200円

講師 二橋元長さん

日本機関紙協会埼玉県本部理事  
埼玉県平和委員会、日本平和委員会理事



## あきこの部屋

映画「〇月〇日、区長になる女」をやっと観ることができました。「住民思いの杉並区長をつくる会」の発足、岸本さんが立候補を決意、市民を中心に一人街宣の様子などが克明に映りまします。一昨年の激動の区長選を思い出し、思わず涙が出ました。

一緒に区長選に取り組んだ多くの仲間が、真剣な表情で区政を変えたい！と行動する姿は何よりも崇高で尊いものでした。

この映画は区民のたたかいの

記録であり、「ミニユニシパリズム」を掲げる岸本聡子という一人の人間についてのリアルな描写でもあると私は感じました。

昨年の区議選でパリテが実現するも、酷いやしが飛び交う区議会には苦勞しています。対話を重ねて杉並区は間違いなく市民参加が進んできています。

2月9日から第一回定例会が始まります。岸本区政になって二度目の新年度予算案の提案と審議に注目したいと思います。